

2018年5月11日 名古屋柳城短期大学附属 三好丘聖マーガレット幼稚園 北野 明子

子どもを授かった喜び

赤ちゃんにまつわるこんなお話を聞いたことがあります。「赤ちゃんは生まれる前に天からこちらの世界を見ていて、どの家族にしようかな~。とお父さんとお母さんを自分で選んで生まれてくる」というお話です。まるで、おとぎ話のような話ですよね。子育てをしていると、自分と子どもだけの関係になって、「私が育てなきゃ」という感覚になってしまいがちです。しかし子どもが『自分たちを親に選んで、この世にきてくれた』と思うと気持ちも前向きになり、子どもに対しても「選んでくれてありがとう」と感謝の気持ちも抱くことができます。

さて最近、お子さんの成長や、面白かった出来事など、ご家族とお話する機会はありましたか?子育では辛いことや苦しいこと、また迷ったり心配したり、悩みは尽きないものです。でも、1年前、2年前、3年前…お子さんがまだお腹にいた時にどんな気持ちだったでしょうか?初めて抱っこした時にどれほど小さかったか、どれだけたくさんのことができるようになったか思い出してみましょう。今まで数えきれないくらいの感動があった事と思います。例えば「話しかけるとニコッと笑ってくれた」「小さい歯が生えてきた」など…その嬉しい出来事一つひとつ経験する中で、親としての心と力と強さを少しずつ身につけています。辛いことの他にも嬉しい事楽しい事、喜びがその倍以上あること、「子どもを産んで良かった」「授かって幸せ」と思えることで、充実した子育ての日々が送れると思います。忙しい日々の中でも、子どもを授かった喜びをいつも心に置いて、お子さんの事についてご家族とたくさん話し、たくさん笑い、たくさん癒されてくださいね。

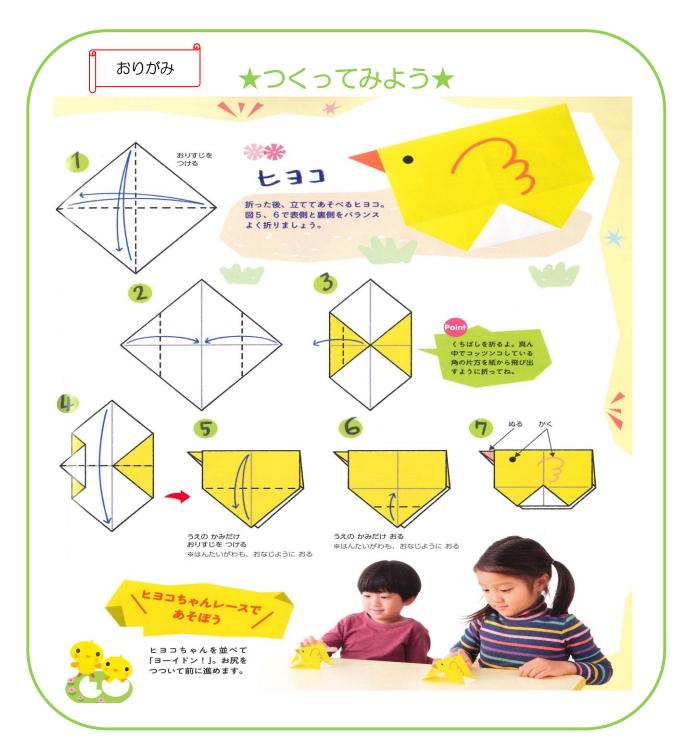




《子育て相談》

自分の子育ではこれでいいのかな?と不安に思われた時、 こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか? 保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、 ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373 お電話お待ちしています



2歳児~

絵

本

だめよ、デイビッド!

作/デイビッド・シャノン 駅/小川仁央 評論社 本体1,300円+税 28.4×22.2cm 32ページ



デイビッドのなんともいたずらで豊かな表情がかわいくて、何度も読んでしまう絵本。「デイビッドのママはいつもいう……だめよ、デイビッド!って」と読んだだけでこうくんは「あー、」って声にならない声を出したので思わず笑ってしまった。子どもたちが気に入っているのは裸でデイビッドが外へ飛び出す場面。どうしても子どもたちはおしりが好きらしい。デイビッドのわんぱくぶりはかなりすごい。部屋で野球をして、花瓶を割ってしまい、さすがにしょんぼり。「デイビイ、こっちにおいで。」とお母さんに呼ばれたときには絶対怒られると思うのに、お母さんが「だいすきよ!」とデイビッドを抱きしめる。そのお母さんの胸で幸せそうなデイビッドの顔にみんなホッとします。